福井大学リポジトリ
UNIVERSITY OF FUKUI REPOSITORY

福井大学教育地域科学部附属教育実践総合センター活動報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福井大学教育地域科学部附属教育実践総合センター研究紀要編集委員会編 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/10462

福井大学教育学部

附属教育実践総合センター

（平成29年　活動報告）

平成29年活動報告（福井大学教育学部附属教育実践総合センター）

今年度も、①教育実践研究部門、②教育臨床研究部門、③教育情報研究部門、④免許更新・現職教育研究部門という4部門の主幹教員が、学部・大学院の教育を担当しつつ、各部門の特徴を生かしたセンター活動を進めた。

以下、本年度にセンターにて実施した活動内容とその詳細を示す。

【教育実践研究部門】（遠藤）

◆教育学部カリキュラムにおける取り組み

「教職実践演習」「教育実践研究A・B・C」等、福井大学教育学部独自の教員養成スタンダードに基づいたカリキュラムでの教育実践研究を進めている。

地域の社会貢献と教員養成の両方に資する教育実践研究として、本学部のフレンドシップ事業「探求ネットワーク」の実施支援も続けている。2017年も学生スタッフが実践研究福井ラウンドテーブル（2月18～19日、6月23～24日）で発表を行う等、学生による実践研究として取り組んできたことを学外者に伝え、自分たちが取り組んできたことの意味を他分野で活躍する人と共に多様な視点から問い直し、新しい価値を見出す機会を学生に保障している。ここから、地域の公民館や学校と学生が協働して新しい活動を始めるなど、地域の教育実践に資する取り組みも生まれている。

◆学習指導要領・指導要録改訂の最新動向の検討

2014年度から、次期学習指導要領・指導要録改訂に向けた最新動向の検討も事業計画に位置づけ、研究を進めている。2017年は、3月31日に幼稚園教育要領ならびに小学校・中学校の学習指導要領が出されるなど、具体的な動きがあった。また、11月17日に文科省から教職課程コアカリキュラムが示されるなど、教員養成に関わる制度改革も具体化している。これらの動向を批判的に検討しながら、今後の教育実践研究に資する取り組みを企画・構想している。

【教育臨床研究部門】（廣澤）

◆心理教育相談室における、有料の個別心理療法（月～金、9時～16時）

不登校をはじめとした相談を受けています。継続的な心理療法を行う事例も微増しており、今後、より一層継続ケースを増やしていきたいと考えています。

H24年度：13件、H25年度：45件、H26年度：74件、H27年度：71件、H28年度：102件、H29年度：99件（1月10日現在）

◆発達障害児のためのキャリア発達支援活動「楽集クラブ3・9・1」（第2～第5火曜日）

今年で丸7年を迎えた本活動は、これまで通り学習支援、キャリア発達支援を行いながら、今年度は自己理解と保護者支援に力を入れました。小学校高学年の児童が多いということもあり、今後、中学校への接続を踏まえると、自己を客観的に捉えることと、自分の気持ちや考えをしっかり実感することの両立が大切であると考えました。また、子どもについての理解を保護者自身が深めて行けるように、保護者との面談なども実施しました。

一方、支援に関わる仕事に就く学生さんたちには、本活動を通して、発達的な課題のある子どもたちの自立を促す支援の在り方について、特に学んでもらうことを目標としました。

◆「子どもの悩み110番」の相談活動（2017年5月･9月）

今年度は、5月と9月に、子どもの悩み110番を実施しました。弁護士、小児科医師、及び大学教員との協働によって、電話相談と面接相談を実施しました。

【教育情報研究部門】（岸）

◆福井県教育工学研究会の後援

福井県教育工学得研究会は、日本教育工学研究会北陸ブロックを形成している研究会であり、平成元年の発足より継続して教育工学に関する実践研究を展開している。教育実践総合センターを活動の拠点とし、月一回の月例研究会の開催，教育フォーラムの企画開催，連携する富山大学・金沢大学の教育実践総合センターとの三大学合同大会の企画・開催など、県内外を含む幅広い活動を積極的に進めている。本年度の月例研究会が主に教育実践総合センターにおいて行われた。2017年10月7日に「スタンプラリー　デジタルで遊ぼう学ぼう楽しもう」を福井県立こども歴史文化館で、2017年12月2日にICT教育フォーラムを教育研究所でそれぞれ開催した。

◆結の故郷学校ICT推進（福井大学連携事業）

大野市教育委員会と連携した事業であり、大野市の教員がICT機器を授業で使う際の支援を福井大学の学生を交えて行った。具体的には、大野市の指定校3校（中学校1校，小学校2校）に対して、年間8回の研究授業を用意し、福井大学の学生がその授業のサポートをすることを通して、大野市の教員にはICTを用いた授業実践力向上の研修に資する取り組みとなり、福井大学の学生にとっては、授業づくりや授業運営を学ぶ場となることが期待されている。教育情報研究部門としては、研究授業後の授業研究会にて3校の教員に対しての公表及び支援を行っていくとともに、2月15日に1年間の事業の総括としてパネルディスカッションを行う予定である。

◆サイバー防犯ボランティア事業（福井県警察本部生活安全部委託）

2017年5月に本学の学生4名と私（教育情報研究部

門主幹教員）が福井県警察本部生活安全部よりサイバー防犯ボランティアとして任命を受け、サイバー犯罪防止に関する啓もう活動を行っている。具体的にはポスター制作，啓もう局の作詞作曲，メディア出演，講演会等への出席を行っている。ポスターＡ２版３枚作製，曲「本当の世界」制作，8月26日「ふれあいフェスタ（福井県警イベント）」（@AOSSA），11/5「ほんと、ホントフェアin福井」（@エルパ），11/18「安全安心まちづくりin三国」に出演。11/8内閣府主催の青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムにパネリストとして出演。その他，福井新聞，朝日新聞に掲載。FBCラジオに出演，FBCテレビでミニドキュメンタリーが放送された。

【免許更新・現職教育研究部門】（大和）

◆教員免許更新講習

本部門では、例年に引き続き、学内外の教員と連携しながら教員免許状更新講習の運営に携わった。

◆教員採用試験に向けた学生支援

今年も教員採用試験に向けた学生支援を行った。具体的な内容は次の通りである。

①一次試験に向けた一般・教職教養科目、学習指導要領の解説等の講座
②二次試験に向けた集団討論、論作文指導
③①の内容に関するDVD視聴講座（自習スペースで学生が自由に閲覧できるよう整備）
④小学校教科専門対策講座の実施（2017年7月）
⑤電子ピアノ（キーボード）を常設し、使用希望者にセンター1Fのプロジェクト室を開放

④については、学内の教科教育・教科専門の教員に講座を依頼し、下記の2日間にわたって実現することができた。

7月5日：社会科（寺尾先生）・外国語（伊達先生）・国語（松友先生）
7月7日：算数（櫻本先生）･理科（淺原先生）･体育（宗倉先生）・音楽（吉村先生）

また、７月31日（月）～８月３日（木）に実施した「二次試験直前対策講座」（A場面指導　B論作文指導　C個人面接指導）では、のべ200名（既卒者も５名）以上が受講した。AとBは本センターの客員・特命教員が担当した。Cは本センターの主幹・客員・特命・非常勤教員の他、学部･大学院就職委員会と教育課程委員会の教員、および今年度から教職大学院等の教員にも協力をいただき、教員２名１組で面接官として指導にあたった。受験者にとっては、自身の専門分野以外の教員から質問を受け、多様な視点からアドバイスを得る機会となったようである。

二次試験の合格者が昨年同様、40名を超えたという結果は、本センターの取り組みに多数の教員の協力を得ることができ、充実した対策講座を開催が実現できたことによるだろう。

さらに本センターでは、今年度の後期、すでに来年度の教員採用試験に向けた対策講座をスタートさせている。来年に受験を控えた学生を対象とし、これまでの講座とあわせて新たに、現職教員による講話（「教師になるための心得講座」）を開き、本センター特命教員の経験を学生に伝え、その後のディスカッションを通して、教職志望への意欲を高めようとする時間を設けている。また、特命教員の元勤務校（小学校）の教員を招き、「教師をめざしたきっかけ」「教師のしごととはなにか」「小学校教師のやりがい」などを学生に話してもらう機会も設けた。

教師をめざす多くの３年生、大学院生の多くからは「先輩たちの姿をみて、頑張って合格したい」という声を頻繁に聞く。10月以降、講座日以外にもテキストや過去問の閲覧、使用を希望する学生は多い状況だが、同時に、教師になるにあたっての不安や希望等、様々な相談が頻繁に寄せられ、特命教員と客員教員がこれらの相談に随時、対応している。こうした学生の動向には、ここ２年ほどの合格率の高まりが影響していると思われる。

センター活動の記録（抜粋）

1月10日（火）楽集クラブ「3・9・1」
1月12日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
1月13日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
1月17日（火）楽集クラブ「3・9・1」
1月19日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
1月20日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
1月24日（火）楽集クラブ「3・9・1」
1月26日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
1月27日（金）教員採用試験対策勉強会
（集団討論・教育法規）
1月30日（月）センタースタッフ会議
1月31日（火）楽集クラブ「3・9・1」
2月2日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
2月3日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
2月4日（土）楽集クラブ「3・9・1」（特別活動）
2月7日（火）AVL運営委員会
楽集クラブ「3・9・1」
2月9日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
2月10日（金）センター運営委員会
教員採用試験対策勉強会（論作文）
2月11日（土）福井県教育工学研究会2月例会
2月14日（火）第90回国立大学教育実践研究関連
センター協議会（東京学芸大学）
2月16日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
2月17日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
2月20日（月）福井大学教育実践研究紀要第41号刊行
2月23日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
2月24日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
2月28日（火）センター運営委員会
3月2日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
3月3日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
3月5日（日）北陸三県教育工学研究大会（福井大学）
3月9日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
3月10日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
3月11日（土）・3月12日（日）
子どもの悩み110番
3月16日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
3月17日（金）教員採用試験対策勉強会
（集団討論・教育法規）
3月18日（土）福井県教育工学研究会総会
4月7日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
4月11日（火）楽集クラブ「3・9・1」
4月13日（木）センター運営委員会
4月13日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
4月14日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
4月18日（火）楽集クラブ「3・9・1」
4月20日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
4月21日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
4月25日（火）楽集クラブ「3・9・1」
4月26日（水）センタースタッフ会議
4月27日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
4月28日（金）教員採用試験対策勉強会
（教育原理・教育心理）
5月9日（火）楽集クラブ「3・9・1」
5月11日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
5月12日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
5月13日（土）福井県教育工学研究会5月例会
5月16日（火）楽集クラブ「3・9・1」
5月17日（水）センタースタッフ会議
教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
5月18日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
5月19日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
5月20日（土）子どもの悩み110番
5月23日（火）楽集クラブ「3・9・1」
5月24日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
5月25日（木）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
5月31日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
6月2日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
6月6日（火）楽集クラブ「3・9・1」
6月7日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
6月9日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
6月10日（土）福井県教育工学研究会6月例会
6月13日（火）楽集クラブ「3・9・1」
6月14日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
6月16日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
6月20日（火）楽集クラブ「3・9・1」
6月21日（水）教員採用試験対策勉強会

（DVD視聴学習）
６月23日（金）教員採用試験対策勉強会
（教育法規・一般教養）
６月27日（火）楽集クラブ「3・9・1」
６月28日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
６月30日（金）紀要編集委員会
教員採用試験対策勉強会（教職専門）
７月３日（月）センター運営委員会
７月５日（水）教員採用試験対策勉強会
（小学校専科）
７月７日（金）教員採用試験対策勉強会
（小学校専科）
７月８日（土）福井県教育工学研究会7月例会
７月11日（火）楽集クラブ「3・9・1」
７月18日（火）楽集クラブ「3・9・1」
７月21日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
７月25日（火）楽集クラブ「3・9・1」（特別活動）
７月28日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
７月31日（月）～８月３日（木）
教員採用2次試験直前学習会
８月５日（土）福井県教育工学研究会8月例会
９月９日（土）福井県教育工学研究会9月例会
９月15日（金）第91回国立大学教育実践研究関連
センター協議会（島根くにびきメッセ）
９月17日（日）・9月18日（月）
子どもの悩み110番
９月25日（月）紀要編集委員会
10月３日（火）楽集クラブ「3・9・1」
10月６日（金）教員採用試験対策勉強会
（教職ガイダンス）
10月11日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
10月13日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
10月14日（土）福井県教育工学研究会10月例会
10月16日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得①）
10月17日（火）楽集クラブ「3・9・1」
10月18日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
10月20日（金）センタースタッフ会議
教員採用試験対策勉強会（集団討論）
10月23日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得②）
10月24日（火）楽集クラブ「3・9・1」
10月25日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
10月26日（木）紀要編集委員会
10月27日（金）教育実践総合センター紀要執筆院生による研究発表会
教員採用試験対策勉強会
（教育法規・一般教養）
10月23日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得③）
10月30日（月）平成29年度日本教育大学協会
北陸地区会教育実践研究指導部門
研究協議会
10月31日（火）楽集クラブ「3・9・1」
11月１日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
11月６日（月）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
11月10日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
11月11日（土）福井県教育工学研究会11月例会
11月13日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得④）
11月14日（火）楽集クラブ「3・9・1」
11月15日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
11月17日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
11月20日（月）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
11月21日（火）楽集クラブ「3・9・1」
11月23日（木）楽集クラブ「3・9・1」（特別活動）
11月24日（金）センタースタッフ会議
教員採用試験対策勉強会（集団討論）
11月27日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得⑤）
11月28日（火）楽集クラブ「3・9・1」
11月29日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
12月１日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
12月４日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得⑥）
12月６日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
12月８日（金）教員採用試験対策勉強会（論作文）
12月11日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得⑦）
12月12日（火）紀要編集委員会
楽集クラブ「3・9・1」
12月13日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
12月15日（金）教員採用試験対策勉強会（教育原理）
12月18日（月）教員採用試験対策勉強会（教員心得⑧）
12月19日（火）楽集クラブ「3・9・1」
12月20日（水）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）
12月22日（金）教員採用試験対策勉強会（集団討論）
12月25日（月）教員採用試験対策勉強会
（DVD視聴学習）

編　集　要　項

1．福井大学教育学部附属教育実践総合センターは研究紀要を発行し，これを「福井大学教育実践研究」と称する。(以下センターと略称する)
2．本誌はセンターの業務内容に関連する教育実践に基づいた研究の発表にあてる。
3．発行は，原則として毎年１回とする。
4．本誌編集のため，編集委員会を設ける。
5－1．本誌の執筆者は，原稿の採択時において，本学部・大学院及び同附属学校園の専任の教職員，またはセンター客員教員，特別研究員，福井大学大学院教育学研究科大学院生であることとする。また，共同執筆者に上記以外の者を含む場合には，上記執筆者が第１執筆者でなければならない。
5－2．福井大学大学院教育学研究科大学院生が第１執筆者である論文あるいは単著論文を発表する場合には，センター主催の研究会等において話題提供（当該論文に係わる口頭発表）を行うことを条件とする。
5－3．編集委員会が特に必要と認めた場合は，5－1．及び5－2．にかかわらず執筆を認めることがある。
6．本誌に，実践論文，実践報告･資料等の欄を設ける。
7．原稿の採択，掲載順序，及び体裁等は，編集委員会において決定する。
8．原稿の図版，写真版等で特に費用を要するものは執筆者の実費負担とする。
9．実践論文，実践報告・資料の執筆者に対しては，抜刷30部を贈呈する。それ以上の部数を必要とする場合は執筆者の実費負担とする。

執　筆　要　項

1．未公刊のものに限る。
2．原稿書式（日本語原稿）
実践論文，実践報告・資料のいずれについても，原則として１頁あたり１段25字×50行（横書き）の２段組（2500字）とし，表題，著者名，英文題目，英文著者名，要旨，キーワード，図表，参考資料，文献，注，付録等も含めて，A4版刷り上がり12頁以内とする。なお，表題，著者名，要旨，キーワード，については第１頁の上部に，英文題目，英文著者名，英文キーワードについては最終頁末尾に，それぞれ１段組で配置する。
3．原稿書式（英文原稿）
実践論文，実践報告・資料のいずれについても，原則としてA4版１頁（上下左右の余白2.5cm）あたり１段50行の２段組とし，表題，著者名，要旨，キーワード，図表，参考資料，文献，注，付録等も含めて，刷り上がり12頁以内とする。なお，表題，著者名，要旨，キーワードについては第１頁の上部に１段組で配置する。
4．論文の体裁
日本語による原稿の体裁は次のようにする。
日本語標題，日本語著者名，日本語要旨，日本語キーワード
本文
注
引用文献
英文標題，ローマ字表記著者名，(英文要旨)，英文キーワード
5．略語
略語は，一般に用いられているものに限る。特に必要な場合は，初出の時に原名，原語を示す。
6．英文校閲
英文校閲については，原則として著者の責任において行うこと。
7．引用文献
論文の最後に一括して示す。記述のスタイルはそれぞれの専門領域の方法に従う。本文中では，著者名，出版年を記載する。
8．図表
図表は，原則として著者自身が完成原稿の所定の位置に配置し，提出する。またこれと併せて，そのまま写真製版できる品質で作成された原図（原表）を，１枚の用紙（A4版）に１つずつ配置して提出すること。なお，図版の作成を編集委員会に依頼する場合は，その経費は執筆者負担とする。写真は原則として，白黒印刷されるが，カラー印刷を希望する場合には，その経費は執筆者負担とする。
9．転載物の著作権
引用の範囲を超えて，図表や文章等の著作物の転載を行う場合には，著者自身によって，書面での転載許諾を得ること。
10．投稿の際の提出物
①原稿添付票
②完成原稿（２部）
図表が配置され，著者が期待する刷り上がりと同じ体裁の原稿
③図表の原図（原表）
④原稿を納めたメディア
査読の結果掲載が決定された段階で，原稿ファイルを提出すること。メディアには，MicrosoftWord®もしくは一太郎®を使用して作成した原稿ファイル（印刷時完成原稿のイメージに沿ってレイアウトされたもの）を納めること。なお，原稿中にデジタル画像を使用し，かつ高精細の仕上がりを期待する場合には，原稿ファイルとは別に，画像ファイルをメディアに納めて提出すること。原稿ファイル等を提出する際に使用可能なメディアは，USBメモリ，CD，DVDとする。
11．その他
上記以外の要項については，別添の「執筆の手引き」を必ず参照すること。